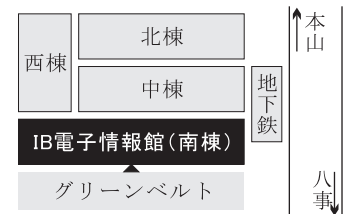


電気電子・情報工学科 —情報工学コース—

コンピュータが誕生してから半世紀以上が経った今日、インターネット・携帯電話・パソコンなどはもはや生活に欠かせない道具になっています。情報工学コースでは、このようなIT社会を支える技術者・研究者・教育者をめざす方に、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの構築方法、コンピュータやネットワークを用いた様々な応用などに関する技術を学んでいただけます。

見学は計3回実施します。事前に整理券を配布しますので、整理券配布開始時刻に集合し、見学を希望する回の整理券を受け取ってください。整理券を受け取ったら、整理券を持参の上、見学する回の集合時間に集まって下さい。ご参加をお待ちしております。

- 集合場所：IB 電子情報館南棟 2 階 295 号演習室
- 整理券配布開始時刻：11:00
- 集合時間：第1回 11:30、第2回 13:30、第3回 14:30（60分/回、70名/回）



情報工学コースの紹介（20分）

情報工学コースで学ぶ情報処理技術に関する概要と、大学院における最先端の研究について簡単に紹介します。

研究室見学（各研究室20分）

「人間の知的活動支援」（渡邊豊英教授・加藤ジェーン准教授・朝倉宏一准教授・小尻智子助教）

私たちは様々な環境に囲まれて生活しています。本研究室では、「人と人」「人と環境」「環境」という3つの視点から、社会における私たちの知的活動を支援するシステムの構築を目指しています。

「人と人」の視点からは、グループ学習や、プレゼンテーションの生成を通じた知識醸成を支援する研究をしています。「人と環境」の視点からは、シミュレーション技術を用いて人間の活動がもたらす社会情報をモデル化しています。「環境」の視点からは、端末間で動的にネットワークを形成するアドホック・ネットワークや、道路交通問題を解決するための車両検出・追跡に関する研究を行っています。

- 分散環境下での協調学習支援環境
- 柔軟なプレゼンテーション作成支援
- アドホック・ネットワークを用いた災害支援
- 交差点における危険車両認識システム
- デマンド・バス配送シミュレーション



「ソフトウェア基礎論」（酒井正彦教授・草刈圭一朗准教授）

本研究室では、計算機言語あるいはプログラミング言語に関する研究を行っています。「高品質のプログラム」を効率良く作成するのに適したプログラミング言語とはどのような言語かを明らかにし、既存のプログラミング言語の改善や、将来のプログラミング言語の設計に指針を与えることが研究の目標です。

「高品質のプログラム」の条件としては、正しいこと、速いこと、メモリ使用量が少ないことはもちろんですが、構造が整っていること、再利用に適していること、仕様などのドキュメントがしっかり揃っていることなど、ソフトウェア工学的な条件も挙げられます。

- ソフトウェアの代数的仕様記述
- プログラム検証
- オブジェクト指向計算
- 書換え型計算モデルの解析
- 関数型プログラミング言語の処理系

